

主のまがき

# まがきの意味

「竹・柴などで目を粗く編んだ垣根」

## 垣根または垣の意味

- 「家・庭・一地域などを、他と区別するために  
囲ったもの」

# まがき、垣根、垣の役目

- 区別
- 保護

## ヨブ記1:10

- あなたは彼とその家およびすべての所有物のまわりにくまなく、**まがき**を設けられたではありませんか。あなたは彼の勤労を祝福されたので、その家畜は地にふえたのです。

## 大争鬪下 253ページ

- キリストに従うすべての者に保護天使がつけられている。これら天からの守護者が、悪い者の力から義人を守るのである。このことは、サタン自身も認めて、「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか。あなたは彼とその家およびすべての所有物のまわりにくまなく、まがきを設けられたではありませんか」と言った(ヨブ 1:9、10)。神がご自分の民を守られる方法について、詩篇記者は、「主の使は主を恐れる者のまわりに陣をしいて彼らを助けられる」と言っている(詩篇 34:7)

# 主のまがき

◎保護天使

## 祝福の山88ページ

- キリストのみたまに満たされた人は、キリストのうちに宿っている。彼をねらう打撃は、ご臨在をもって囲んでいてくださるキリストに当たる。彼に起こることはみな、キリストを経てくるものである。キリストが彼の守り手であるから、彼は自分で悪に手向かう必要がない。主のゆるしがなければ、何物も彼に触れることはできない。そして許されることはみな、相共に働いて彼を愛する者たちの益となるのである。



## 人類あけぼの上 3ページ

- 反逆が天で始まったそのときから、ついに、それがくつがえされて、罪が完全に根絶されるまでの善悪の大争闘の歴史もまた、神の不変の愛の実証である。

## 実物教訓153, 155ページ

- 世は、ますます悪化して行くのであるから、自分には、なんの困難も起こらないと楽観することは、だれもできない。実は、こうした困難そのものが、わたしたちを至高者の会見室に導き入れる。わたしたちは、無限の知恵を持っておられる主の勧告を、求めればよいのである。→

「悩みの日にわたしを呼べ」と主は、言っておられる(詩篇 50:15)。神は、わたしたちが、自分たちの悩みと欠乏とを神に申し上げ、上からの助けの必要なことをわたしたちが神に訴えることを、神は勧めておられる。……悩み苦しみに会うものはすべて、神を呼び求めるとよい。冷酷な人々に頼ることをしないで、創造主に、あなたの求めを申し上げなさい。砕けた心をもって、神に来るものは、だれ1人しりぞけられることはない。

## ヨハネ10:1~16

よくよくあなたがたに言うておく。羊の囲いにはいるのに、門からでなく、ほかの所からのりこえて来る者は、盗人であり、強盗である。  
10:2 門からはいる者は、羊の羊飼である。  
10:3 門番は彼のために門を開き、羊は彼の声を聞く。そして彼は自分の羊の名をよんで連れ出す。10:4 自分の羊をみな出してしまおうと、彼は羊の先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、彼について行くのである。  
10:5 ほかの人には、ついて行かないで逃げ去る。その人の声を知らないからである →

10:9 わたしは門である。わたしをとおってはい  
る者は救われ、また出入りし、牧草にありつく  
であろう。10:10 盗人が来るのは、盗んだり、  
殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。  
わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに  
得させるためである。10:11 わたしはよい羊飼  
である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。  
10:12 羊飼ではなく、羊が自分のものでもない  
雇人は、おおかみが来るのを見ると、羊をす  
てて逃げ去る。そして、おおかみは羊を奪い、  
また追い散らす。10:13 彼は雇人であって、羊  
のことを心にかけていないからである。 →

10:14 わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。10:15 それはちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。10:16 わたしにはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼となるであろう。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。



# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。

# よい羊飼いの条件

- ① 自分の羊をよく知っている。
- ② 羊の先頭に立って行く。
- ③ 羊が彼に従ってついてくる。
- ④ 羊をきちんと養う。
- ⑤ 羊を命をかけて守る。
- ⑥ いつも羊の事を心に留めている。
- ⑦ 囲いの中にいない羊も導きあわせて、羊たちを一つにまとめることができる。





## まがき、垣根、垣の役目

- 区別
- 保護
- 所有者の確認

## ホセア2:6

- それゆえ、わたしはいばらで彼女の道をふさぎ、かきをたてて、彼女にはその道がわからないようにする。

2:7 彼女はその恋人たちのあとを慕って行く、しかし彼らに追いつくことはない。彼らを尋ねる、しかし見いだすことはない。そこで彼女は言う、『わたしは行って、さきの夫に帰ろう。あの時は今よりもわたしによかったから』と。

## 教会への勧告下 130ページ

もしわたしたちが、あえてサタンの領域に踏み込むならば、彼の力から守られるという保証はない。できるかぎりわたしたちは、誘惑者が自分に近づくすべての道を、閉ざさなければならない。

# 希望上145、146ページ

同じように(キリストがサタンの誘惑に勝利されたように)、われわれも誘惑に抵抗し、サタンに離れ去れと強く言うことができる。...

われわれは自分自身を誘惑者サタンの力から救うことはできない。サタンは人類を征服したのである。自分自身の力で立とうとする時、われわれはサタンの策略に陥るであろう。だが「主の名は堅固なやぐらのようだ、正しい者はその中に走りこんで救を得る」(箴言18:10)。どんなに弱い魂も、この大いなるみ名をかくれ家とするとき、サタンはふるえあがってその前から逃げ出す。

# 主のまがき

- ◎ 保護天使
- ◎ 主の御名

## 実物教訓155～156ページ

- キリストは、ご自分の嗣業である神の選民をサタンの手の中からあがない出すことを、何よりも望んでおられる。しかし、わたしたちが、サタンの外部的な権力から救われるに先だって、サタンの内部的な力から救われなければならない。 →

そこで世俗心や利己心、粗野でキリストにふさわしくない性質を清めるために、主は、試練がやってくることをお許しになる。苦難の大水が押しよせてくるのは、わたしたちが、神と、神がつかわされたイエス・キリストを知り、汚れからの清めを熱望するようになるためである。こうした試練を経ることによって、さらに清く聖なるものとなり、幸福になるためである。

→

わたしたちが試みの炉に入る時、魂はしばしば利己心のために暗くなる。しかし、その厳しい試練を忍耐するならば、神の性質を反映して出てくるのである。神が苦難を送られた目的が果たされたとき、「あなたの義を光のように明らかにし、あなたの正しいことを真昼のように明らかにされる」(詩篇 37:6)









神の領域



本人の選択



サタンの領域

# 主のまがきが設けられる条件

## ①自分と自分自身の関係

品性において完全で、清い生活を送り、常に潔白な良心と正しい動機を持つ。

## ②自分と他の人々

実直かつ公正で情け深く、豊かな愛情を持つ。

## ③自分と神様

神を畏れ、こよなく敬愛する。

## ④自分とサタン

サタンを憎み、罪を憎む。

# 144,000の人々

真の安息日を守る



神の印



神の所有物



主のまがき



神の保護

## レビ記19:30

- あなたがたはわたしの安息日を守り、わたしの聖所を敬わなければならない。わたしは主である。

## 出エジプト20:6

- わたしを愛し、わたしの戒め  
を守るものには、恵みを施し  
て、千代に至るであろう。



## 詩篇17:7~9

- 寄り頼む者をそのあだから右の手で救われる者よ、あなたのいつくしみを驚くばかりにあらわし、ひとみのようにわたしを守り、みつばさの陰にわたしを隠し、わたしをしえたげる悪しき者から、わたしを困む恐ろしい敵から、のがれさせてください。

## 詩篇121:7

- 主はあなたを守って、すべての災を免れさせ、またあなたの命を守られる。

ヘブル語 「shāmar」(シャーマー)  
意味 守る

レビ記19:30    ↘  
                  人が戒めを守る

出エジプト20:6 ↗

詩篇17:7～9    ↘  
                  神様が人を守る

詩篇121:7      ↗

# 主のまがき

- ◎ 保護天使
- ◎ 主の御名
- ◎ 神の律法

## 教育76ページ

**神の律法**は、専横な要求をすることで、かえってそれは、人類を守るための**囲い**として、また**楯**として与えられているのである。律法の原則を受け入れる者はだれでも悪から守られる。

主はその被造物の周りに**保  
護の壁**である彼の**聖なる戒め**  
をお与えになった。

MS153、1899年

全天は、神の律法（品性）  
は聖にして正しく、良いも  
のであることを擁護するの  
を聞こうと待っている。

RH1901年4月16日

神は彼ら(神の民)を、聖なる  
律法の保管者として、世に神  
の品性を擁護するために召さ  
れたのである。

5T746



# 主のまがき 144,000

- 主のまがきによって守られる民



- 神の御名を擁護する民  
(主の周りにはりめぐされたまがきの役目)